

北海道公立大学法人

札幌医科大学

専攻科

公衆衛生看護学専攻 Public Health Nursing
助産学専攻 Midwifery

Sapporo Medical University Graduate Course

2026



● アクセス

- ・札幌市電「西15丁目」停留所下車・徒歩約5分
- ・地下鉄東西線「西18丁目」駅6番出口・徒歩約5分

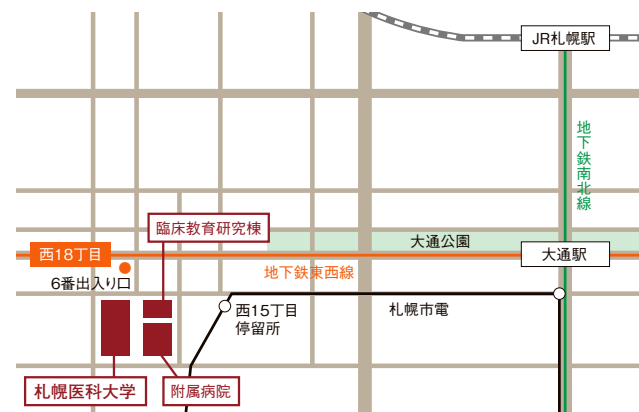
● お問い合わせ

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
札幌医科大学 事務局学務課 保健医療学部・専攻科教務係

TEL 011-611-2111 (内線23780)

✉ senkouka@sapmed.ac.jp

<https://web.sapmed.ac.jp/>



令和7年5月作成



専攻科長あいさつ

専攻科長 片寄 正樹 Katayose Masaki

Be a Professional “プロフェッショナル”たれ！

我が国では人口構造の変化に伴う2025年問題、さらに深刻な事態が懸念される2040年問題が目前に迫っています。少子高齢化と人口減少に伴い、労働人口の減少、社会保障制度の危機、医療・介護費用の財源圧迫などが日本社会に多大な影響をおよぼすことが予測されています。健康寿命の延伸やシニア世代の活躍を支えるための健康支援、出産・子育て世代の妊娠・出産・育児への支援は、社会の維持のために不可欠といわれています。これらの課題に直接的に向き合う保健師と助産師への期待は大きく、その果たす使命も大きなものになってきました。これに呼応するように保健師・助産師に求められる素養も高度専門化してきていることと合わせ、その隣接専門領域との連携素養も不可欠になってきています。

これらの状況を踏まえ、札幌医科大学では看護師有資格者を対象とした保健師および助産師の1年間の養成プログラムである専攻科を早くから設置し、本専攻科は公衆衛生看護学専攻と助産学専攻の2専攻を擁する大学専攻科としては我が国初の設置となっています。

本専攻科は、保健医療学部そして医学部を擁する札幌医科大学が運用するプログラムとして、高度専門的な知識・技能の習得を促す教育を確保しつつ、先端的な教育研究リソースを活用した専門職として主体的に役割遂行できる高度な実践力を身につけた保健師・助産師、そして公衆衛生看護や助産領域を牽引しうるリーダーとしての素養を育む教育を展開しています。

将来、北海道における地域保健・周産期医療の第一線で活躍し、多様な課題を解決しながら今後の発展・向上を支える人財となることを目指す皆様のご入学を心からお待ちしております。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

求める学生像

札幌医科大学専攻科は、北海道の保健・医療・福祉に貢献する、高度な知識と優れた技術を備えた創造性に富む人間性豊かな保健師・助産師を育成することを目的としています。そのため次に掲げるポリシーにより学生を求めます。

〈知識・技能〉

1. 公衆衛生看護学、もしくは助産学の基盤となる看護学の基礎・基本を高いレベルで修得している人

〈思考力・判断力・表現力等の能力〉

2. 北海道の保健・医療・福祉に深い興味・関心を有し、保健師もしくは助産師として地域に貢献したいと考えている人
3. 看護上の諸課題の解決に必要な実践力を有している人

〈主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度〉

4. 多様な価値を尊重し、高い倫理観を持って行動する姿勢を有している人
5. 看護職としての役割を認識し、専門職としてのキャリアデザインを描いている人

入学までに学習しておくことが期待される内容

1. 看護実践に関する基礎・基本の知識と技術を統合する能力
2. 看護の対象者の健康上の課題を明らかにし、論理的・科学的思考によって解決する基本的能力
3. 看護の対象者や協働する人々と良好な対人関係を築き、連携・協調する能力
4. 看護職としての役割と責任を認識し、高い倫理観をもって実践する基本的能力
5. 看護職としてのキャリアビジョンを有し、自己研鑽を継続する姿勢

建学の精神に基づく国内初の2専攻からなる専攻科

札幌医科大学 建学の精神

一、進取の精神と自由闊達な気風

一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

平成24(2012)年、本学に助産学専攻科が誕生しました。専攻科の開設前夜、北海道立衛生学院の閉校が決定し、本学は助産師教育の機能移管を北海道から要請されました。地域医療への貢献の使命を果たすべく、周産期医療と母子保健で活躍する将来のリーダーたる助産師の養成に本学は踏み出しました。さらに、平成30(2018)年度入学生を最後に、本学は保健医療学部看護学科選択コースの保健師養成課程を閉じ、専攻科としての教育へ変更することとしました。令和2(2020)年度に公衆衛生看護学専攻が開設されるのに伴い、札幌医科大学に両専攻を擁する専攻科が誕生しました。

近年、保健師養成課程と助産師養成課程を擁する専攻科は少しずつ増え始めていますが、本学はその先駆的な取り組みをしたと自負しています。これからも本学は進取の精神に則り、北海道のパイオニアとして保健師、助産師、看護師の看護三職種全ての教育に取り組んでいきます。

両専攻での合同授業

保健師・助産師が活動する現場では、複雑な課題を抱える対象者が増加し、単独の職種で問題解決を図ることが困難となっています。職種理解を深め、将来的に保健医療福祉活動における多職種連携を果たせる保健師・助産師になってほしいと考え、合同授業を行っています。



5月
両専攻の
学生混在の
グループで
意見交換

健康教育について意見交換をしました。入学して1か月の授業ですが、学生からは保健師と助産師で考え方や視点が違うという感想が寄せられました。わずか1か月ですが、他職種との相違を知り相互的な職種理解が芽生えていました。



1月
各専攻の
グループで
意見交換

子育てにおいて課題を抱える女性と家族への支援について意見交換をしました。公衆衛生看護専攻と助産学専攻の学生では、対象者のアセスメントの視点や支援方法の考え方に明確な違いが現れていました。講義や演習、実習を経験し、保健師・助産師として自職種への理解が深まっていました。

修了生間の交流、修了生⇄大学間での連携活動

保健師交流会

公衆衛生看護学専攻では、修了生・在学生・教員による交流会を開催しています。交流会では、修了生が互いに日頃の保健師活動について情報交換を行ったり、在学生が先輩保健師である修了生に、就職先の自治体の地域特性や保健師活動、教育体制などについて質問し、進路選択の参考にしたりするなど、専攻科の先輩と後輩がつながる貴重な機会となっています。毎年、多くの参加者が集い、活発な意見交換が行われています。



SAPMED Midwife Café（サブメド ミッドワイフ カフェ）～拓く!助産師の道～

1年課程の専攻科では、先輩・後輩のつながりを持ちにくい、助産学専攻では学年を越えた交流の場として「SAPMED Midwife Café」を年2回開催しています。在校生と助産学専攻への進学を希望する学部生との交流をメインにした「ビギナー編」では、受験勉強や実習、就職活動などについて情報を得られる貴重な機会となっています。

また、修了生同士や修了生と在校生の交流をメインとした「ステップアップ編」では、助産師としての経験や、結婚・出産などライフイベントの体験を共有しています。同じ助産師の話を聞くことで刺激を受け、今後のキャリア形成に役立つ情報を得ることができます。



両専攻共に国家試験合格率100%の実績

公衆衛生看護学専攻

保健師国家試験
開設以来5年連続

助産学専攻

助産師国家試験
開設以来13年連続

専攻科の学生生活 Student's Life

1年間、一緒に頑張る仲間たち！
助け合い、励まし合える存在が
とても大きいです。



合同授業

勉強以外の
楽しみも!!



PC室で課題を
しています。
24時間使用できるので
便利です!



令和6年度
札幌医科大学専攻科 助産学専攻
助産学課題研究報告会

1年間の集大成を発表します!

図書館の自習スペースで
国試勉強!24時間いつでも
利用できます。



前期

入学式

講義・
演習

実習

夏季休業

後期

講義・
演習

実習

冬季休業

研究
発表会

国家試験

修了式



新生児訪問演習

講義・演習・
グループワークを通して、
助産師・保健師に
なるために
必要な知識・技術を
身につけます。



分娩助産総合演習

様々な実習施設で、
専門分野について深く学びます。



小学生への健康教育



助産学実習家庭訪問

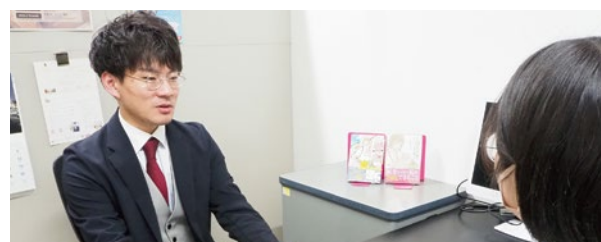


晴れて修了!同期は一生の宝です★

就職活動

公衆衛生看護学専攻の就職活動

5月～1月頃



助産学専攻の就職活動

4月～9月頃

公衆衛生看護学専攻の就職活動支援

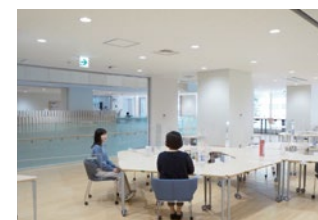
公衆衛生看護学専攻では、就職担当教員を設置し、学生の皆さんからの就職相談を適宜受け付けています。自治体が実施するインターンシップや説明会などの情報も積極的に提供し、現場体験や情報収集をサポートしています。北海道内への就職を希望する方には、「北海道内市町村保健師合同就職説明会」への参加を推奨し、北海道や道内市町村の行政保健師から地域の特性や保健師活動の実際について学ぶ機会を提供しています。

助産師就職セミナー

合同就職説明会の多くは看護師向けの情報が多いのですが、本学の就職セミナーでは助産師に特化した情報が得られます。実習施設の助産師が参加し、施設の特徴や助産師の仕事などを助産師と交流しながら知る機会となり、実習準備にもつながっています。



大学・附属病院にある施設が利用できます



学生ホール

新しくなった学生ホールで食事
や勉強ができます。



丸善

学習に必要な専門書を取り揃え
ています。



ファミリーマート

大学と附属病院にあります。



スターバックスコーヒー

附属病院1階にあり、学生も利用
できます。

保健管理センター

保健管理センターは専攻科生の生活を健康面からサポートする場所です。医師、保健師、看護師、公認心理師で構成され、それぞれの専門性を活かしながら健康に関する業務の実施や相談に対応しています。



保健室



相談室



先輩たちの受験準備 在校生に聞きました！

公衆衛生看護学専攻

入学試験1年前・半年前・2か月前など人によって勉強の開始時期は様々です。実習や講義などで思うように勉強時間を取れないこともあるので余裕をもって早めに始めることをお勧めします。

Q.
受験勉強を始めた時期を教えてください。

メディックメディアのクエスチョンバンクとレビューブックを中心に学習を進め、苦手分野は看護roo!アプリ、公衆衛生がみえる、プチナースドリル、看護国家試験解説YouTubeなどを使って補足しました。

Q.
どんな教材を使いましたか？

勉強方法
問題を繰り返し解き、看護師国家試験を余裕で合格できるレベルを目指しました。スマホなどの誘惑に負けないよう専攻科を受験する友人と通話をつなげて勉強しました。

勉強場所
自宅、学校、図書館、カフェなど自分が集中できる環境で勉強することが大事です。

勉強時間
平日の学校や仕事がある日は合間を見つけて、休日には5～12時間程度まとまった時間を確保して勉強していました。1日に「ここまで！」と目標を決めて取り組むことも大事です。

Q.
受験勉強の方法を教えてください

平日は学校の課題を優先して休日に受験勉強しました。実習中は実習に集中していました。試験ではアセスメントが求められますが、真剣に実習に取り組んでいれば解ける内容です。

社会人経験者
勉強時間の確保が難しいため、看護の基礎を意識しながら日々の業務に取り組みました。看護師業務と受験勉強は通ずるものが多くあり、受験勉強で学んだことを業務に生かしたり、業務で学んだことを思い浮かべながら勉強に生かしていました。

Q.
授業や実習(仕事)と勉強を両立させる工夫について教えてください

趣味の時間や好きなお菓子や飲み物でモチベーションを上げていました。遊びと勉強のメリハリをつけることを意識していました。保健師になって何をしたいかを考えて受験勉強に取り組むと苦になりませんでした。

Q.
どんな風に受験勉強を乗り越えましたか？

専攻科の1年間は就活や実習なども多く忙しいですが、同じ志をもつ仲間や先生方の支えがあり、安心して学ぶことができる環境です。尊敬できる仲間と一緒に学び、成長することができる素敵な1年になることと思います。保健師への第一歩を札幌医科大学専攻科で共に踏み出せることを心より願っています。

受験生へメッセージをお願いします！

助産学専攻

3年生が終わった春休みから開始する人が多かったです。2年生の夏ごろからゆったり勉強を始めた人もいました。

国家試験対策の教材(QBやRBなど)を使う人が大半でした。数字が等が変わってしまうため、最新版を入手することが大切です。教科書や大学の講義資料、国家試験アプリ等も用いて補足しました。

勉強方法
国家試験問題集を何度も解いて知識を定着させ、教科書に載っている事例などを活用してアセスメントの勉強をしていました。隙間時間にアプリを上手に活用している人が多かったです。

勉強場所
ひたすら自宅や図書館等の決まった場所で勉強する人もいれば、気分転換に自宅の中で場所を変えたり、カフェに移動して勉強する人もいました。

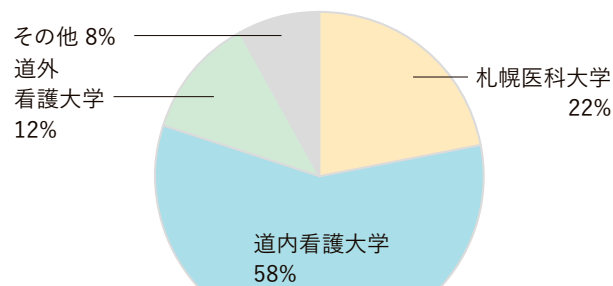
勉強時間
授業がある日は、空き時間や授業終了後から夜まで、休日には家や図書館で8～12時間くらい勉強する人が多かったです。

授業や実習等のスケジュールをもとに勉強の計画を立てて臨んでいました。実習に集中するために、実習開始前に全範囲を一通り学習し終えていたという人もいました。実習期間は実習に集中することが試験に出るアセスメント対策になった、卒業研究や授業は、勉強の気分転換になった、という声もありました。

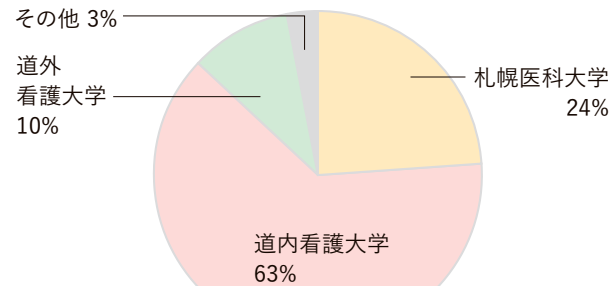
授業や実習がある中や、受験しない学生が休みを謳歌している中、ひたすら受験勉強をするのは大変だったけれど、一緒に受験する仲間と励まし合い乗り越えていました。勉強する時間と自由時間をきっちり分ける、家族や友達と話す、散歩する等して、ストレスがたまらないように工夫していました。辛いときは、助産師になぜなりたいたいのかを思い出すと頑張れました。

同じ夢を持った熱い同期、サポートしてくださる先生、実習先で出会う対象者さんたちなど素敵な出会いや貴重な経験がたくさん待っています。専攻科での1年は充実し過ぎてあっという間でした。大変なこともあったけれど成長を実感できます！同じ受験生の友達たちと励まし合いながら、最後まで諦めないで頑張ってください。応援しています。

入学生の内訳 開設以来



公衆衛生看護学専攻



助産学専攻

公衆衛生看護学専攻

Public Health Nursing Program

教育目標

公衆衛生看護学専攻では、地域ケアシステムの構築と地域社会の多様なニーズに応える保健師としての基礎を培うため、以下の教育目標を掲げます。

1. 地域住民の健康と安寧を支える実践能力の基礎となる高いレベルの知識・技術を有する人材を育成する。
2. 広い視野をもって社会の動きを見据え、地域に存在する健康課題を捉える能力を有する人材を育成する。
3. 社会の健康課題の解決に向けた社会資源の開発やシステム化、施策化に参画できる人材を育成する。
4. 地域住民、関係機関、多職種と連携・協働し、パートナーシップに基づいて組織的に活動できる人材を育成する。
5. 人々の生命や人権を尊重するとともに、社会的公正を活動の基盤とし、専門職に求められる倫理に即して行動できる人材を育成する。
6. 公衆衛生看護の質的向上のために継続的に自己研鑽し、自らの能力の維持・開発、公衆衛生看護学を探究する態度を有する人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー(修了証書授与方針)

公衆衛生看護学専攻は、地域保健を担う保健師に求められる専門性と実践力を兼ね備え、所定の単位を修得した学生に保健師国家試験受験資格を付与するとともに、修了証書を授与します。

1. 地域に存在する健康課題を明確化し、事業計画を立案して組織的に解決するための公衆衛生看護学及び関連分野の知識・技術を身につけている。
2. 豊かなソーシャルキャピタルの醸成を目指して、地域に出向き、地域に根差した実践を展開するための基礎的な能力を身につけている。
3. 地域の健康課題を解決するための社会資源の開発やシステム化、施策化に参画する能力を身につけている。
4. 地域住民、関係機関、多職種の人々と信頼関係を築き、連携・協働する能力を身につけている。
5. 保健師としての役割と責任を認識し、高い倫理観をもって実践する能力を身につけている。
6. 地域住民の健康の保持・増進、地域社会の安寧、公衆衛生看護の充実と発展のために、生涯にわたって研鑽する意欲と自己学習力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)

公衆衛生看護学専攻は、修了証書授与方針に掲げた能力を有する人材を育成するために、以下のように教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程は、「専門領域」「関連領域」「臨地実習」で編成する。
 - ①専門領域では、公衆衛生看護の目的・対象、保健師の役割や専門職としての責務や倫理を学ぶ。加えて、公衆衛生看護の対象である個人／家族、地区／小地域、地域のアセスメント、地域社会がかかえる健康課題の解決に必要な知識・技術を学ぶ。
 - ②関連領域では、疫学や保健統計、保健福祉行政等の専門分野を支える知識を学ぶとともに、人々の健康に深く関わる環境や社会の多様性に対応するためのコミュニケーションスキル、将来の保健師としてのキャリアデザインについて学ぶ。
 - ③臨地実習では、行政・学校・産業・地域において、学内で学んだ知識と技術と統合し、公衆衛生看護の実践能力の向上をはかる。
2. 公衆衛生看護学及び看護実践に必要な知識と技術の修得レベルを高めるため、事前準備と事後展開を含む質・量の伴う学修過程を展開する。
3. 少人数グループでの能動的学習を積極的にとり入れるとともに、個別状況に応じた学習支援を行うことにより、学生個々が高水準の知識・技術を修得できる教育環境のもとにカリキュラムを展開する。
4. 将来の保健師としてのキャリアプランを具体化するため、行政・学校・産業の場で活躍する現職保健師との交流や地域等におけるインターンシップなど、キャリアイメージを高め、職業アイデンティティの形成を促す機会を設定する。

教授あいさつ

公衆衛生看護学専攻教授 平野 美千代 Hirano Michiyo

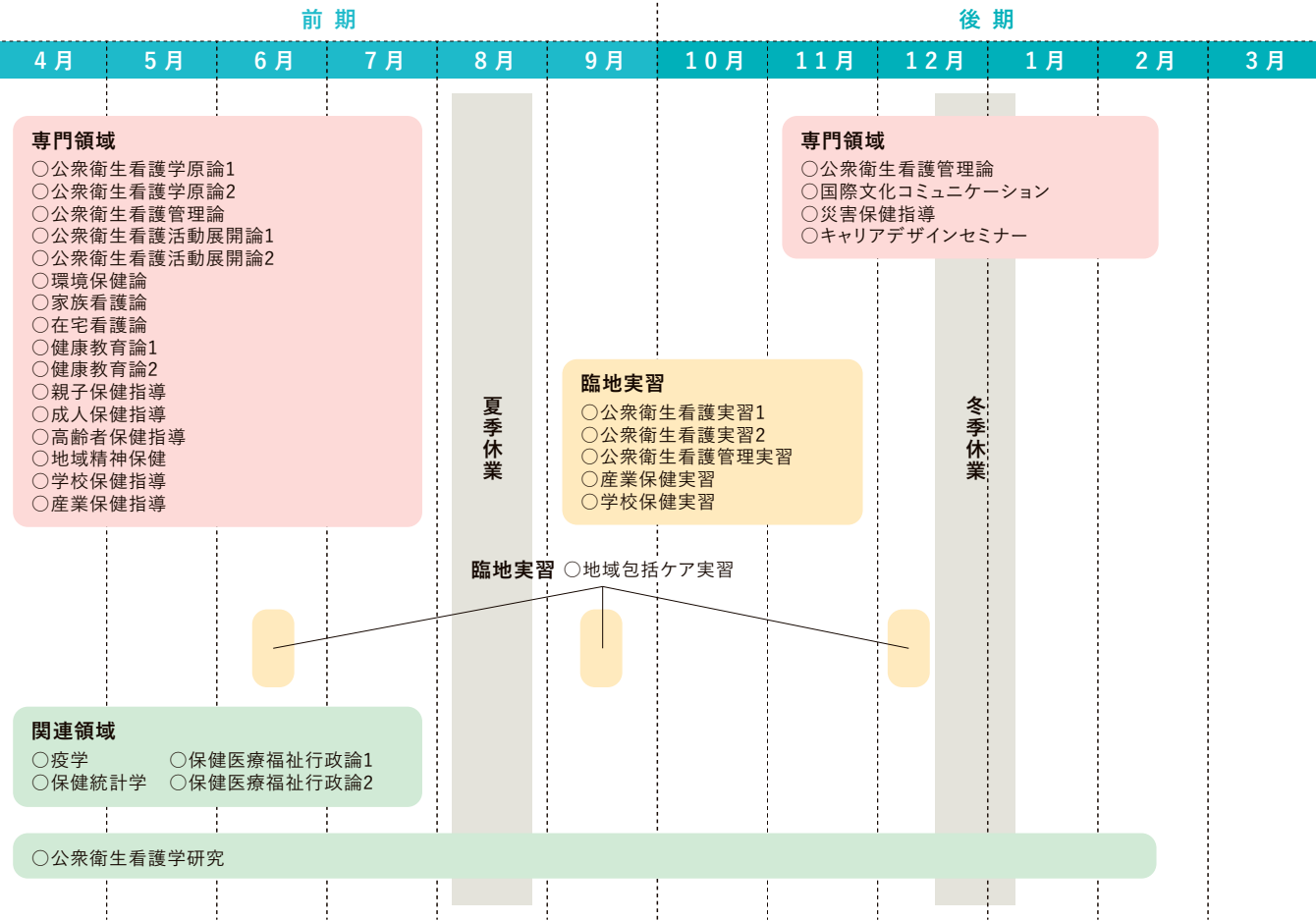
保健師は地域の人びとの健康と生活をまもるために幅広い活動に取り組んでいます。支援の対象は「個人・家族」「組織」「地域社会」と多岐にわたり、各対象にあわせた支援のほか、これらを連動させた包括的なアプローチも実施します。ここで大事になるのが保健師としてのマインドです。地域の人びとの健康増進と地域社会の安寧を目指し、理想とする未来を描きながら、「地域のなかで」そして「地域の人びとと共に」活動を展開することがカギとなります。公衆衛生看護学専攻では、豊富な実務経験をもつ教員陣が、保健師マインドを育みながら、講義、演習、実習による体系的な教育を提供します。実習では、行政機関、産業、学校、地域包括支援センター等、様々な実践現場で公衆衛生看護の実践や技術を深く学びます。また、災害保健、キャリアデザイン、国際文化コミュニケーションといった特色ある科目を設け、保健師に求められる幅広い知識を身につけることができます。本専攻では、高度な実践力を備えた、北海道の地域保健に貢献できる人材の育成を目指しています。本専攻での学びをもとに、保健師としての新たな一步を踏み出してみませんか。地域の人びとが健康で充実した生活を送れる地域社会について、一緒に考えていきましょう！

・・・取得可能な資格・・・

保健師国家試験 受験資格

保健師国家試験合格後
第1種衛生管理者の申請資格

カリキュラムの特徴 30科目、合計38単位が必要です。すべての単位を修得することで、保健師国家試験受験資格が得られます。本学の教育の特長は、「公衆衛生看護の基盤となる科目の充実」「『対象』と『場・活動・方法』を連動させた段階的な教育」「行政、産業、学校、地域包括ケアに関する質と量を兼ね備えた充実した実習」「保健師活動に活かせる公衆衛生看護学研究と探求心の育成」「各分野で豊富な教育・実践経験を有する専任教員による教育」です。



授業風景



疫学調査演習



新生児訪問演習



健康教育演習



在留外国人との交流会



公衆衛生看護学研究中間発表会



地区アセスメント演習

実習の特徴

行政における実習の他、産業保健、学校保健、地域包括ケア等を実習科目として配し、充実した多彩な実習により高い実践能力を身につけます。

科目	実習概要	実習期間	主な実習施設
公衆衛生看護実習1	地域住民に身近で頻度の高いサービスを提供している市町村での個人・グループ(小集団)を対象として展開されている家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査等への参加をとおして、既存の知識や技術を基盤に対象者や地域の実情に合わせて実践できる能力や多様な場における保健師の役割について総合的な思考を養います。	9月下旬～10月上旬にかけて2週間	○市内10区の保健センター ○小樽市保健所 ○千歳保健所及び管内保健センター ○室蘭保健所及び管内保健センター ○浦河保健所及び管内保健センター
公衆衛生看護実習2	実習地域を看護の対象として、保健統計資料の分析や地区踏査などから地域アセスメントを実施し、人々の健康課題やニーズの明確化、地域の実情に合わせた課題解決のための対策を立案する能力、地域との協働における保健師の役割について総合的な思考力を養います。 また、地域を包括的に捉えるうえで、保健所と市区町村における公衆衛生看護活動の違いを理解すると共に、各々の役割や機能について学習します。	10月中旬～下旬にかけて2週間	
公衆衛生看護管理実習	実習先で展開されている公衆衛生看護管理活動の実際から、具体的な公衆衛生看護管理を学び、地域の健康課題に基づいた事業化の方法を学習します。 公衆衛生看護管理における保健師の役割と機能、健康課題から施策を展開していく方法と技術を理解し、保健師による地域のケアの質保証の方法を学習します。	10月下旬～11月上旬にかけて1週間	○札幌市保健所 ○小樽市保健所 ○千歳保健所及び管内保健センター ○室蘭保健所及び管内保健センター ○浦河保健所及び管内保健センター
産業保健実習	労働者の個人、集団、組織の健康の保持増進及び予防活動における保健師の役割について実践をとおして学びます。 産業看護の概念や公衆衛生看護活動における産業看護の目的、労働者の健康に及ぼす影響、産業看護における看護管理の特徴や展開を学習します。	9月上旬～中旬にかけて1週間	○製鉄記念室蘭病院 ○イオン北海道株式会社 ○サツドラホールディングス株式会社
学校保健実習	学校保健の場の特性を理解し、個人及び家族、学校組織を対象とした公衆衛生看護活動について実践をとおして学びます。 公衆衛生看護活動における学校看護の目的、学齢期を対象にした公衆衛生看護活動を展開するために必要な方法、技術等について実践をとおして学ぶとともに養護教諭の役割を学びます。	11月中旬～下旬にかけて1週間	○札幌市立伏見小学校 ○札幌市立新琴似北小学校 ○札幌市立発寒小学校 ○札幌市立平岡中央小学校 ○札幌日本大学中学校(予定)
地域包括ケア実習	地域包括支援センターにおける活動、三職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)の役割、機能を実践をとおして学びます。 地域で暮らす高齢者への継続訪問を実施し、高齢者と家族への支援方法を具体的に学びます。 地域のニーズを把握し、地域包括ケアシステム構築のために必要な知識や技術、保健師としての役割を学びます。	6月、9月、12月の計4日間	○札幌市内地域包括支援センター

実習風景



学校保健実習：小学生への健康教育



産業保健実習：職場巡視



公衆衛生看護実習：感染防護具の装着

修了生の進路

多くの修了生が保健師として就職し、活躍しています。

〈就職先〉

北海道内
北海道／札幌市／小樽市／旭川市／釧路市／帯広市／岩見沢市／江別市／美瑛市／三笠市／千歳市／登別市／恵庭市／北広島市／石狩市／八雲町／長万部町／倶知安町／栗山町／増毛町／利尻町／音更町／北海道対がん協会

北海道外
東京都特別区／群馬県／千葉県／福岡県／横浜市／川崎市／座間市／新潟市／長野市／西海市／神川町／警視庁・民間企業（産業保健分野）

修了生の声



令和4年度 修了生
酒井 優果 さん
（八雲町／保健師）

私は現在、八雲町保健師として母子保健分野を担当しており、今年で3年目になります。八雲町の人口は約14,500人、そのうち出生数は65人前後であり、大きな町ではない分より多くの子どもたちを把握できる強みもあります。特に自分の地区担当の赤ちゃんに対しては会うたび成長を実感することができ、親戚のような思い入れを持ちながらまた次に会える日を楽しみに日々奮闘しています。

私は一度看護師として数年勤務した後、札幌医科大学専攻科へ入学しました。入学後は座って講義を受けること自体に体が慣れない日々でしたが、何より専攻科の先生方やここで出会えた仲間たちに救われて、今の私がいます。実技演習や臨地実習では、家庭訪問の面接演習を先生も交えて行ったり、小学校で実際に健康教育を行ったりと、札幌医科大学専攻科だからこそ実践できたことだと思っています。また、ケース会議のような実際の現場で働く中で求められる「支援の方向性を定める力」は、専攻科で何度も実践したグループワークと目標設定が活きていると感じています。

専攻科は保健師を目指すみなさんにとって必ず力になること、そして同じ夢を持つ素敵な仲間と先生方に出会えるはずです。保健師として働いている未来の自分を想像しながら、今できることを見つけてください！応援しています。



令和4年度 修了生
児玉 永遠さん
（利尻町／保健師）

私は現在、利尻町の保健師として、主に母子保健を担当しています。専攻科での1年を振り返り印象に残っていることは、実習での経験です。札幌医科大学専攻科の強みは、臨地実習の種類が多く、内容も充実しているところです。学校保健実習・産業保健実習では、グループで協力し試行錯誤を重ね、緊張しながら健康教育を行いました。子どもたちが喜んでくれたことや参加していただいた方からの好評をいただき嬉しかったことを覚えています。働き始めてからも中学生や成人に向けて健康教育を行う機会があり、実習での経験が自信となり活かされています。また、どのような内容であれば動機づけになるか、行動変容につながるかという視点は、健康教育に限らず個人への保健指導にもつながる部分であり、この経験は私の財産となっています。公衆衛生看護実習では、今働いているところとは業務内容が異なる自治体の保健師の仕事を実習生の立場として体験することができました。働き始めると他の自治体保健師の話聞くことはあっても、その中に入って経験することはありません。利尻町とは人口規模も何かも異なる自治体で実習できたことは、支援方法等あらゆる部分における保健師としての考え方の幅が広がったと思います。専攻科で過ごした日々も充実していましたが、その学びを活かしながら保健師として働くことはさらに楽しく充実しています！保健師を目指す皆様、心より応援しています。

助産学専攻 Midwifery Program

教育目標

助産学専攻では、教育理念を実現し、社会の要請に応える助産師としての基礎を培うため、以下の教育目標を掲げます。

1. 妊娠・出産・産褥の過程、その後の育児に関わる母子やその家族及び女性の生涯の健康を支援するために必要な知識・技術を有する人材を育成する。
2. 広い視野のもとに、多角的・多面的に女性の健康に向き合う姿勢を有する人材を育成する。
3. 対象となる女性と家族の多様性を尊重し、相互信頼に基づく支援と支持を実行しうる能力を有する人材を育成する。
4. 助産実践に際しては他職種と協働しながら専門的な知識・技術を活用し、専門職としての責任と責務を主体的に遂行する能力を有する人材を育成する。
5. 人間の尊厳と生命の尊重を基盤に、専門職である助産師に求められる倫理に即して行動できる人材を育成する。
6. 助産実践の質的向上のために継続的に自己研鑽し、助産に関する能力の維持・開発、助産学を探究する態度を有する人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー（修了証書授与方針）

助産学専攻は、地域の母子保健・周産期医療を担う助産師に求められる専門性と実践力を兼ね備え、所定の単位を修得した学生に助産師国家試験受験資格を付与するとともに、修了証書を授与します。

1. 妊娠・出産・産褥の過程において正常経過の判断と異常を早期に発見するための助産学及び関連分野の知識・技術を実践に活用する能力を身につけている。
2. 妊娠・出産・産褥の過程において正常経過をたどる女性と子ども、家族の状況に即した助産ケアを的確に実施できる基礎的な能力を身につけている。
3. 妊娠・出産・産褥においてハイリスクな状態にある女性や子どもの経過判断を的確に行い、必要なケアを実施する能力を身につけている。
4. 助産実践の対象となる全ての女性、とりわけ妊娠・出産・産褥の過程における女性や家族と信頼関係を築き、発展させる能力を身につけている。
5. 助産実践の充実と発展のために助産師チームの連帯性を高めるとともに、保健医療チームにおいて他の保健医療関係者と連携・協働する能力を身につけている。
6. 地域の母子保健・周産期医療を取り巻く諸課題に向き合い、それらの充実と発展を志向し、行動する能力を身につけている。
7. 助産師としてのプロフェッショナリズムを高め、研鑽し続ける能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

助産学専攻は、修了証書授与方針に掲げた能力を有する人材を育成するために、以下のように教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程は、「助産学の基礎領域」「助産学の実践領域」「助産学の関連領域」で編成する。
 - ①助産学の基礎領域では、助産の目的・対象、助産実践の基盤となる周産期医学や胎児・新生児学の知識に加え、性と生殖に係わる健康支援者としての役割、専門職としての責務と倫理を学習する。
 - ②助産学の実践領域では、さまざまな健康レベルにある妊産褥婦と新生児に対するアセスメント、出産に向けた身体的準備性と回復力を高める助産ケアの基本、多様な施設における助産管理の実践を学ぶ。実習では、自らの助産活動を通して知識と技術を統合し、実践能力を高める。
 - ③助産学の関連領域では、子育て中の女性と家族に対する支援、地域における母子保健の課題を解決するための助産師の役割について学ぶ。加えて、最新の知見をもとに助産実践に対する洞察を深め、効果的なケアを創造する能力を養う。
2. 助産学及び助産実践に必要な知識と技術の修得レベルを高めるため、事前準備と事後展開を含む質・量の伴う学修過程を展開する。
3. 少人数グループでの能動的学習を多くとり入れるとともに、個別指導による学習支援を充実させ、学生個々が高水準の知識・技術を修得できる教育環境のもとにカリキュラムを展開する。
4. 将来の助産師としてのキャリアプランを具現化するため、周産期母子医療センター、病院、助産所及び地域で活躍する現職助産師と交流し、キャリアイメージを高め、職業アイデンティティの形成を促す機会を設定する。

教授あいさつ

助産学専攻教授 正岡 経子 Masaoka Keiko

助産学専攻は今年で開設14年目を迎え、これまで224名の修了生を助産師として社会に送り出してきました。助産師教育は、その時々々の社会動向に合わせ、教育内容、方法の検討を行い、令和4年度に開設以来3回目となるカリキュラム改正を行い、新カリキュラムを運用しているところです。常に重視していることは母性看護学を中心とした看護基礎教育とのつながり、および修了後の新人助産師教育との継続性のあるシームレスな教育活動です。現在は、少子化、出産の高齢化、身体・心理・社会的にリスクを有する母子と子育て家族が増えていることを背景に、周産期ハイリスクケアや子育て支援において多職種が連携・協働し母子と家族の健康を支えるケア能力の獲得が重点課題となっています。誰一人取り残さないーNo one will be left behindをスローガンとする持続可能な開発目標「SDGs」において、助産師が機能することは必要不可欠です。助産師は、英語でMidwifeといいます。Midwifeの語源はラテン語で、「女性とともにある」を意味しています。さまざまなライフステージにある女性とともにあり続け、「いのちを守りいのちを育む人になる」ために、助産師はどのように思考・判断し、行動する必要があるのでしょうか。女性に寄り添うケア実践の根底にある助産哲学に裏付けされた専門的知識・技術を札幌医科大学で学び、未来への扉を開きませんか。

取得可能な資格

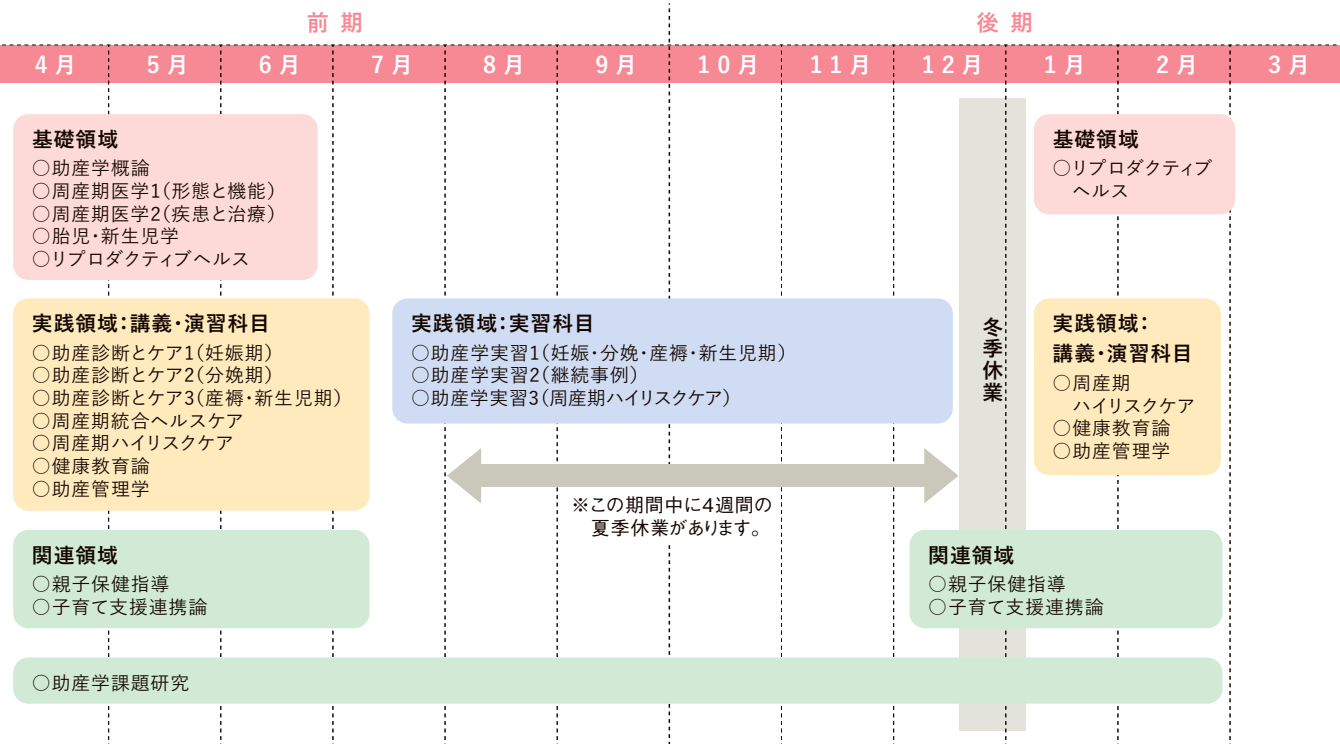
助産師国家試験
受験資格

受胎調節実地指導員
申請資格

新生児蘇生法(NCPR)専門コース
(Aコース)修了認定申請資格

カリキュラムの特徴

母性看護学教育を取り巻く現状を踏まえ、看護学教育から助産学教育への滑らかな移行を目指し、学内での講義・演習で基礎を固めた上で実習に向かえるよう、カリキュラムを構成しています。身体的リスクに加え、心理社会的に困難や課題を抱える妊産褥婦や家族が増加している背景を受け、令和4(2022)年度に助産師基礎教育課程の指定規則が変更されました。本学では総単位数の変更はありませんが、医学的ハイリスクへの臨床判断と対応能力の強化、地域での子育て支援に参画する基盤的能力の強化を目指し、カリキュラムを一部改正しました。学内演習ではロールプレイを多く取り入れた「人」との関わりを重視し、臨床の「リアルな場面」を再現しケア能力を高める学習が充実しています。また、学生時代から多職種と協働する力を育むため、保健師を目指す公衆衛生看護学専攻の学生と共に学ぶ講義・演習を準備しています。



※修了には18科目32単位の修得が必要です。

授業風景



分娩助産演習



授乳支援の演習



妊婦健診での医療面接演習



出生直後の児の観察演習



出産後の身体づくり:エクササイズ演習



妊婦の心肺蘇生演習



妊娠期の超音波診断演習



助産学課題研究:ケーススタディ報告会



メンタルヘルス不調のスクリーニングと対応に関するグループワーク

実習の特徴

札幌市内の他、全道各地の医療機関で実習を行います。地域の周産期医療の現状と女性・家族の多様なニーズに触れながら経験を積むことができます。

科目	実習概要	実習期間	主な実習施設
助産学実習1 (妊娠・分娩・ 産褥・新生児期)	正常経過にある妊娠・分娩・産褥・新生児期の母子と家族を受け持ち、マタニティサイクルに必要なケアの実践能力を修得する。マタニティサイクル各期の対象者を一定数以上受け持つことを通して、妊産褥婦と新生児の個性を理解し、ニーズに合わせたケアを提供する。また、その人らしさと持てる力を尊重したケアを提供するために助産師に求められる基礎的な態度を学ぶ。	7月中旬 ～12月中旬	○札幌医科大学附属病院 ○手稲溪仁会病院 ○NTT東日本札幌病院 ○朋佑会札幌産科婦人科 ○札幌白石産科婦人科病院 ○札幌東豊病院 ○札幌マタニティ・ ウイメンズホスピタル
助産学実習2 (継続事例)	マタニティサイクルにある一組の母子と家族を受け持ち、妊娠期(または分娩期)から産褥・育児期までの継続ケアを展開する。プライマリケアの中で母子の身体的、心理社会面の変化を理解し、母子と家族のニーズに応じたケアを実施する。また、受け持ち母子および家族との継続的なかわりを通して、対象者との援助関係を形成し、対象者にとって妊娠・出産・育児がよりよい体験となるための助産師の役割・態度について考察する。		○江別市立病院 ○製鉄記念室蘭病院 ○函館中央病院 ○函館五稜郭病院 ○市立函館病院 ○町立中標津病院
助産学実習3 (周産期ハイ リスクケア)	リスクのある妊産褥婦と新生児へのケアに参加し、実践に必要な知識と技術について学習する。また、周産期医療の現状、医療チームの連携、周産期のハイリスク対象への継続ケアについて学び、周産期医療チームにおける助産師の役割を考察する。	8月上旬 ～12月中旬	○北海道立子ども総合 医療・療育センター ○(日鋼記念病院) ○(市立千歳市民病院)

修了生の進路

毎年、修了生の8～10割が、北海道の医療機関に助産師として就職しています。

また、修了生の約7割が、実習施設に就職しています。これは、全国的にみても高い割合です。4～5月に開催される本学の実習施設による就職セミナーに参加し、そこで得る情報や先輩助産師との交流が、就職先の選択に繋がっています。

〈就職先〉

北海道内	北海道外
札幌医科大学附属病院／手稲溪仁会病院／ NTT東日本札幌病院／JCHO北海道病院／ KKR札幌医療センター／札幌白石産科婦人科病院／ 朋佑会札幌産科婦人科／札幌東豊病院／ 札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル／ 北海道大学病院／市立札幌病院／天使病院／ 勤医協札幌病院／札幌徳洲会病院／ カワカミウイメンズクリニック／江別市立病院／ 市立千歳市民病院／苫小牧市立病院／小樽協会病院／ 製鉄記念室蘭病院／函館五稜郭病院／函館中央病院／ 帯広厚生病院／帯広協会病院／釧路赤十字病院／ 町立中標津病院／網走厚生病院／北見赤十字病院／ 旭川医科大学病院／旭川厚生病院／留萌市立病院	青森県立中央病院／ JA新潟厚生連長岡中央総合病院／ さいたま赤十字病院／戸田中央産院／ 東京医科大学病院／杏林大学医学部付属病院／ 東京都立荏原病院／東京女子医科大学病院／ 東京女子医科大学八千代医療センター／ 東邦大学医療センター大森病院／ 国立成育医療研究センター病院／ 慈恵会医科大学附属病院／大森赤十字病院／ 板橋中央総合病院／横浜みなと赤十字病院／ 横浜国際親善病院／新百合ヶ丘総合病院／ 名古屋第一赤十字病院／京都市立病院／ 大阪市立総合医療センター／済生会兵庫県病院 他

修了生の声



令和5年度修了生

久保田 夕姫子さん

(江別市立病院 助産師)

私は、母の出産に立ち会った経験から助産師を目指すようになりました。看護学生時代に経験した母性看護実習では、助産師の仕事の責任の重さを感じ、自分には担いきれないのではないかと思ったこともありましたが、母子をサポートしたいという思いが強く、受験勉強に励み無事合格することができました。

専攻科での1年は本当にあっという間に過ぎていきました。初めの数ヶ月で座学と演習を繰り返し、基礎的な知識と技術を身につけました。専攻科では、グループワークやロールプレイを取り入れた講義が多いため、他学生の多様なアセスメントの視点を学ぶことができたり、ケアを行う際の留意点を実技を通して学ぶことができました。筆記試験・実技試験を終えたら、すぐに実習が始まります。実習では、妊娠期から産後1ヶ月までの妊産褥婦・新生児に関わることができました。専攻科では、周産期ハイリスクケア実習があり、切迫早産の妊婦やNICU・GCUで治療を受ける新生児のケアについて学ぶことができます。この実習での経験を通して、様々なリスクを抱える対象者へのケアについて実践を通して学ぶことができました。

今、助産師として働く中では、複雑な背景を持った患者や産後のサポートが希薄な患者など、様々な問題を抱えている方と関わることも多く、日々新しい課題に直面しています。悩み考えることは多いですが、専攻科で学んだ知識と技術を活かして自分にできることは何かを考えながら対象者と関わっています。

専攻科での1年は、試験や実習で忙しく大変なこともありますが、同じ夢を持つ仲間と優しい先生方の支えがあり乗り越えることができました。理想の助産師像を目指して、ぜひ本学で学びませんか。



令和5年度修了生

清水 里奈さん

(札幌医科大学附属病院 助産師)

私は母性看護実習で母子看護に興味を持ち始め、助産師を目指しました。専攻科では毎日非常に多くの学びがあり、とても充実した1年間を過ごすことができました。

専攻科の特徴は、演習やグループワークが多いことだと思います。モデル人形を使用して行う演習では、臨床の現場をイメージしながら手技や流れを身につけることができました。また、いつでも演習室が使用できるため、実習の合間に技術の復習を行ったり、先生からアドバイスをいただいたのもとても良かったです。グループワークは少人数で行うものから公衆衛生看護学専攻の学生と合同で行うものまであり、母子保健やハイリスク、健康教育などについて非常に幅広い視点から考えることができました。

ハイリスク妊産婦が多い病院で働いている現在、困難にぶつかることもあります。専攻科で学んだ知識や経験が役に立っているなど実感することとても多いです。

専攻科では実習や課題など大変なことも多くありますが、その分乗り越えられた時の達成感と喜びも大きいです。私は専攻科で過ごした1年間、とても楽しかったです！

助産師を目指している皆さん、一緒に頑張りましょう！

学生募集の概要

●入学者選抜のねらい

看護学一般に関する客観問題と記述問題からなる学科試験を課し、公衆衛生看護学または助産学を学ぶ上で必要とされる知識を確認するとともに、公衆衛生看護学実践または助産学実践への意欲や課題意識、将来の保健師や助産師としての適性を評価します。

●募集人員及び選抜区分

公衆衛生看護学専攻		助産学専攻	
入学定員	選抜区分	入学定員	選抜区分
15名	一般入試、学内推薦入試 社会人入試	15名	一般入試、 地域社会人特別推薦入試

●入試日程及び入学者選抜方法、入学料等(各専攻各選抜区分共通)

◎入試日程

試験日	令和7(2025)年 9月13日(土)	出願期間	令和7(2025)年 7月7日(月)～7月18日(金)
-----	------------------------	------	--------------------------------

◎入学者選抜方法

筆記試験(専門科目(看護学一般))
及び面接

◎入学料、授業料 入学料 169,200円 授業料 535,800円 ※その他、テキスト代、実習に伴う経費(旅費等)がかかります。

●出願資格

各専攻共通

一般入試	次の①から⑦のいずれかに該当する者で(助産学専攻においては女性であること)、かつ、看護師資格を有する者又は出願時において看護師国家試験の受験資格を有する者(取得見込みの者を含む)とする。ただし、入学時には看護師国家試験に合格していなければならない。 ①学校教育法第83条第1項に規定する大学を卒業した者又は令和8(2026)年3月までに卒業見込みの者 ②学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和8(2026)年3月までに学位取得見込みの者 ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8(2026)年3月までに修了見込みの者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8(2026)年3月までに修了見込みの者 ⑤我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8(2026)年3月までに修了見込みの者 ⑥専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和8(2026)年3月までに修了見込みの者 ⑦学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき、文部科学大臣の指定した者
------	--

公衆衛生看護学専攻

学内推薦入試	一般入試の要件を満たし、かつ、次の①から④のすべてに該当する者とする。 ①令和8(2026)年3月に札幌医科大学保健医療学部看護学科を卒業見込みであり、かつ、札幌医科大学保健医療学部長が推薦する者 ②合格した場合には必ず入学することを確約する者 ③本専攻修了後は、北海道内に保健師として就職することを確約する者 ④出願時に、上記②、③に関する本人記載の確約書を提出できる者
社会人入試	一般入試の要件を満たし、かつ、次の①から④のすべてに該当する者とする。 ①入学時で、満25歳に達し、3年以上の看護職歴を有する者 ②合格した場合には必ず入学することを確約する者 ③本専攻修了後は、北海道内に保健師として就職することを確約する者 ④出願時に、上記②、③に関する本人記載の確約書を提出できる者

助産学専攻

地域社会人特別推薦入試	一般入試の要件を満たし、かつ、次の①から④のすべてに該当する者とする。 ①札幌市以外の北海道内の市町村にある病院・診療所等で看護師として勤務している者のうち施設長が推薦する者 ②合格した場合には必ず入学することを確約する者 ③本専攻修了後は、助産師として推薦者である病院・診療所等に復帰する者 ④出願時に、施設長の同意を含めた本人記載の確約書を提出できる者
-------------	--

専攻科説明会は、 令和7(2025)年7月12日(土)に開催します。

詳細については、随時大学ホームページに掲載しますので、
右のQRコードからご確認ください。

ホームページは
こちらから

